



食べることで
応援してください!!



食べて
応援

しょうひしゃ
消費者



せいさんしゃ
生産者

人にも
やさしく



びわこ
琵琶湖

琵琶湖や魚に
やさしく

琵琶湖とつながる滋賀県の田んぼはいのちの宝庫
小さな魚の赤ちゃんにやさしく、人にもやさしく
そんな想いをこめてお米作りをしています

お問い合わせ

琵琶湖とつながる生きもの田んぼ物語推進協議会
事務局:滋賀県農政水産部農村振興課

〒520-8577 滋賀県大津市京町4-1-1

☎077-528-3963 📠077-528-4888

✉gh01@pref.shiga.lg.jp



『魚のゆりかご水田』の取組について 詳しくはこちら▶

琵琶湖からやってきた魚が田んぼで **いのち** を育んでいます

魚のゆりかご 水田米

すいでんまい



ニゴロブナと田んぼの関係

- 琵琶湖は、400万年の歴史を持つ世界有数の古代湖で、多くの固有種が生息しています
- その中の一種、ニゴロブナは、人々が湖辺に住み始めるはるか昔から、湖辺の湿地帯(ヨシ帯や一時的に水域となる浅瀬)を産卵の場としていました
- 人々が湖辺で米作りをするようになってからも、ニゴロブナのその営みは変わらず、田んぼを産卵に最適な場所として利用するようになりました
- 現代でも、春…代かきを終えた田んぼに水が張られるころ、ニゴロブナは産卵のために田んぼをめざします



『魚のゆりかご水田』とは？

- 田んぼをめざす魚のために、水路に魚道(魚のとおり道)を作っています



ジャンプして水路をのぼり
田んぼをめざします



田んぼの中を泳ぐ
魚の赤ちゃん



1か月で約2cmの
大きさになり
また琵琶湖へと
かえっていきます

『魚のゆりかご水田米』は 環境こだわり農産物です！

『環境こだわり農産物』とは？

次の3つを守って作られた農産物を
滋賀県が認証したものです

- 農薬や化学肥料の使用量を通常の半分以下に減らして栽培する
- 琵琶湖や周辺の環境に優しい技術で栽培する
- いつ、どんな農薬や化学肥料を使用したか記録する



さらに『魚のゆりかご水田』では
次のようなことにも取り組んでいます

- 除草剤を使用する場合は、魚に影響のないものに限定する
- 田んぼで魚の赤ちゃんが育成していることを確認する
- 魚の赤ちゃんが琵琶湖へかえりやすいよう工夫する



だから、より安全で安心です